



©Yuki Asada

村の植物がおしゃれアイテムに

サワサワサワ…。標高3,000メートル近くの高地にあるエチオピア内陸部のグラゲ地方ゲタ郡。どの季節に足を運んでも、一面に広がる高山植物のすき間を、さわやかな風が吹き抜ける。

この土地の女性は、真面目、働き者、手先が器用と三拍子そろっていて、何でもササッと作ってしまう。どこか日本人と似た気質を持つ彼女たちは、エンセーテと呼ばれる植物からとれる繊維を使った小物作りが得意。一本一本、植物の繊維を丁寧により合わせて縄を作り、カギ針で編み込んでいくという地道な作業。その技術は母から子へと、代々受け継がれている。

でき上がったモノは品質も良く、女性

好みのおしゃれなデザイン。これを、村の中だけにとどめておくのはもったいない。この村にしかない“オンリーワン”の特産品として打ち出そうと、女性たちがみんなで奮闘中。JICAの研修を通じて、商品開発やマーケティングのノウハウなどを学んでいる。

最近では、一人、二人と新しい技術に関心を示す人が増えてきた。「休日にも研修をやってほしい!」という声も聞かれるほどだ。「彼女たちのがんばりには頭が下がります」と関千種JICA専門家は話す。

エチオピアの村から運ばれてきた自然の味わいたっぷりの雑貨。今年の春のおしゃれアイテムに加えてみては。



手先が器用な女性たちの手にかかれば、あっという間に素敵な小物に

★バッグ、鍋敷き、コースターを各2人にプレゼント!
→詳細は38ページへ

